

2024 年8月2日開催 2025 年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 第1四半期の収益上振れ分は通期で持ち越し出来るか？

現時点では上振れ要因になると想定している。今期のばれいしょの収穫状況等の見極めが今後必要だと考えているが、現時点ではばれいしょの調達に関して大きな問題はないと認識している。

Q2 6月実施した価格・規格改定実施後の販売状況を踏まえた今後の販売見通しは？

ポテトチップスの定番品を中心に、伸ばしたい部分は伸ばせている。4月から5月中旬まで原材料品質により低調な製品もあったが、現在は解消済み。価格・規格改定効果も期初予想より強めに出ており、上振れ余地も残っている。

Q3 国内事業の計画比での増益要因は？

国内事業での増益要因は、販売数量増と改定効果。スナック全体で販売数量は計画に対し1%弱プラス。販売費・原材料費等のコスト増はあったが、数量伸長・売上構成比の改善等でこれを打ち消している。

Q4 販売費が前年同期比で増加しているが、効果は出てきているのか？

販売費の規模は期初計画通り。前期は下期偏重だったが、今期は平準化した。継続的なマーケティング投資により、スナック、シリアルとも良いモメンタムを維持している。

Q5 為替の円高傾向が続いた場合の収益への影響は？

150 円/米ドルの水準であれば営業利益段階で大きな影響はないと見込んでいる。

Q6 海外事業ではどの地域が伸長したのか？

北米は「Harvest Snaps」や日本発ブランド製品が2桁成長し貢献。このモメンタムを維持していく。インドネシアはコスト改善に加え、売上構成比の改善で収益性向上。それ以外の地域も総じて好調に推移した。

以上